

ウォーキングイベント
フィールドミュージアムツアー2019

松山市制施行
130周年
記念

松山とロシア 交流の歴史をたどろう

解説:立命館大学教授 宮脇 昇氏

新栄座前を歩くロシア兵捕虜たち

明治37~38年の日露戦争時、人口約3万人の松山市に延べ約6,000人のロシア兵捕虜が収容されました。敵国であるにもかかわらず、市民は捕虜たちを人間として温かくもてなし、妻子を松山に呼び寄せ夫将校や戦場で「マツヤマ、マツヤマ」と呼びながら投降する兵士がいたほどと伝えられます。

今から約100有余年前、松山市民とロシア兵捕虜の交流は、地方都市と世界が直接向き合う「今」という時代において、お手本を教えているのかもしれない。

松山の歴史を詳しく立命館大学の宮脇昇教授の解説で、ロシア兵捕虜たちが暮らした松山城周辺の収容所跡に息づく「春や昔」の記憶をたどり、散策してみませんか。



妙清寺における仮縫工場

平成31年3月24日(日)

10:00~12:00 松山城二之丸史跡庭園 9:45集合

対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員:20名程度 ※先着順

参加費:無料

申し込み:「フィールドミュージアムツアー参加希望」と明記して、住所・電話番号・氏名(ふりがな)・年齢・参加人数をご記入の上、電話・はがき・ファックス・eメールにてご応募ください。

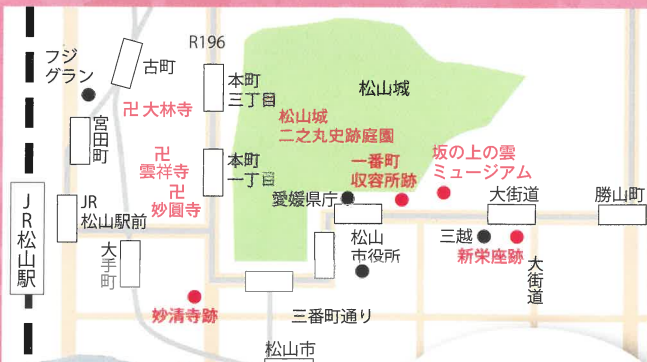
お問合せ:坂の上の雲ミュージアム

〒790-0001 松山市一番町三丁目20番地

TEL.089-915-2600 FAX089-915-3600

Eメール sakakumo-museum@yon-b.co.jp

申込締切:平成31年3月19日(火) 必着



私と一緒に
春の松山城周辺を
歩きましょう!!

ラジオ
パーソナリティ
熊本フミさん

